

向こう1か月の天候の見通し


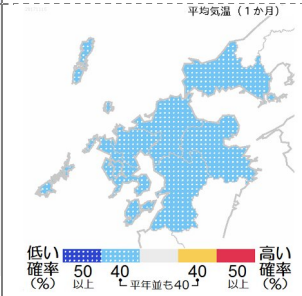
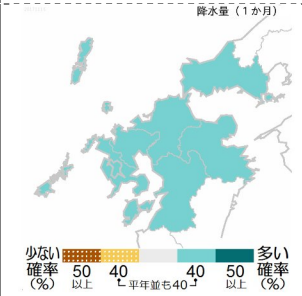
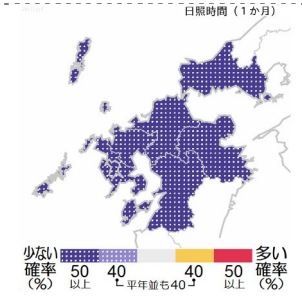
九州北部地方（11月18日～12月17日）

福岡管区气象台

予報のポイント

- 寒気の影響で、期間のはじめは気温がかなり低くなり、向こう1か月の気温は平年並か低くなる見込みです。
- 気圧の谷や前線の影響で、向こう1か月の日照時間は少なく、降水量は平年並か多い見込みです。

1か月の平均気温・降水量・日照時間

	平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）
九州北部地方	低 40 並 40 高 20% 平年並か低い 見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い 見込み	少 50 並 30 多 20% 少ない 見込み
 数値は予想される出現確率です			
	平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）
	低い 確率 (%) 50 以上 40 平年並も40% 40 50 高い 確率 (%)	少ない 確率 (%) 50 以上 40 平年並も40% 40 50 多い 確率 (%)	少ない 確率 (%) 50 以上 40 平年並も40% 40 50 多い 確率 (%)

週別の天候

(1 週目) 11/18～24	(2 週目) 11/25～12/1	(3～4 週目) 12/2～15
高気圧に覆われて晴れる日もありますが、低気圧や寒気の影響で雲が広がりやすく、期間のはじめに雨が降るでしょう。期間の前半は山地では雪が降る所があるでしょう。	前線や湿った空気の影響で、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。	平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

明日から1週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報 (<http://www.jma.go.jp/jp/week/>) を参照してください。

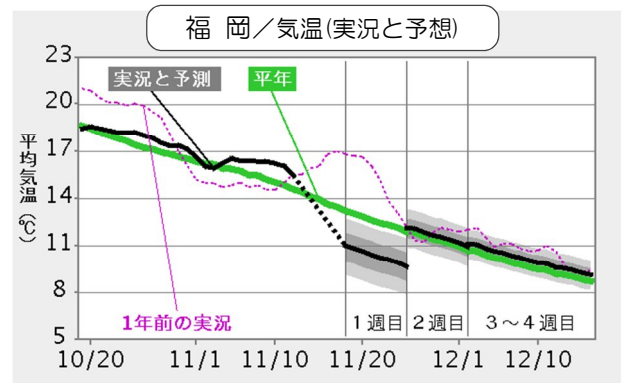
季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。
確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

週別の平均気温

	平均気温（1 週目） 11/18~24	平均気温（2 週目） 11/25~12/1	平均気温（3~4 週目） 12/2~15
九州北部地方	低 80 並 10 高 10% 低い 見込み	低 20 並 50 高 30% 平年並 の見込み	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み
数値は予想される 出現確率です	平均気温（1 週目） 	平均気温（2 週目） 	平均気温（3~4 週目）
	低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%) 以上 7 平年並も 40 以上 (%)	低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%) 以上 7 平年並も 40 以上 (%)	低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%) 以上 7 平年並も 40 以上 (%)

ほかの地点の気温（実況と予想）グラフは、気象庁ホームページ <http://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/longfcst/tjikeiretu/index.php> で公開しています。

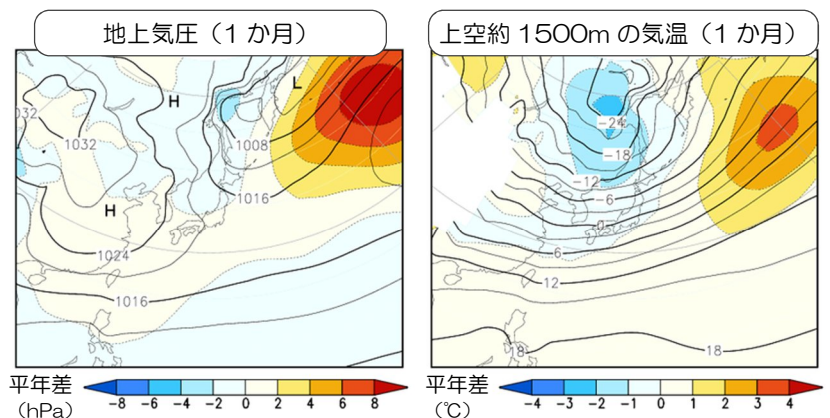
予想の気温は、週別の平均的な気温の見込みを黒い太線で表しています。信頼の程度が 40%の幅を濃い網掛けで、70%の幅を薄い網掛けで示しています。今年、昨年の実況は 7 日平均気温です。



数値予報モデルによる予測結果

1 か月平均の地上気圧（左図）は、中国東北区から日本海、北・東日本にかけて平年より低く、沖縄・奄美周辺では平年より高い予測となっています。

上空約 1500m の気温（右図）は、中国東北区から北・東・西日本にかけて平年より低く、上空に寒気が入りやすい予測となっています。

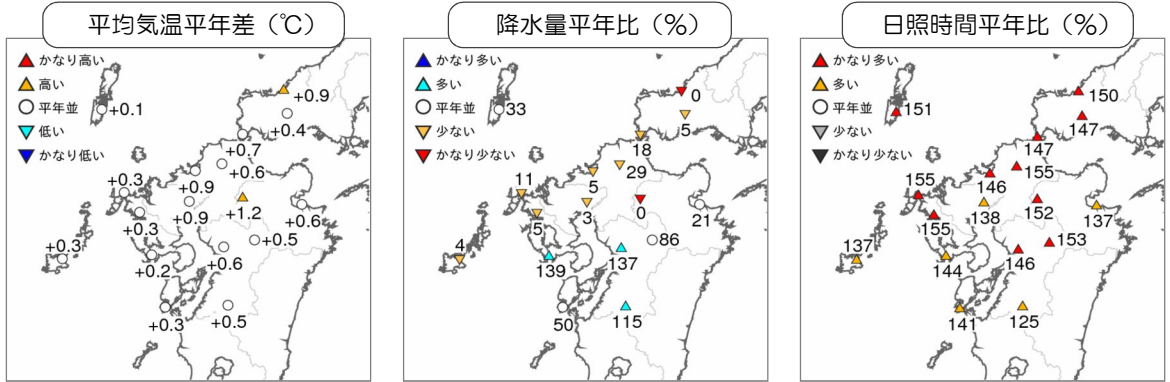


季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します（アンサンブル予報）。多数の結果の平均（上図など）から大気の状態を判断し、また結果のバラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

最近 1 週間の天候経過（実況）

11/9~15

天気は数日の周期で変わり、10日や13日から14日は気圧の谷や前線の影響で曇りや雨となりましたが、その他の日は高気圧に覆われ晴れました。気温は、期間の中頃は平年を下回りましたがおおむね平年を上回り、1週間平均の気温は平年並となりました。この期間の降水量は少なく、日照時間はかなり多くなりました。



(実況) 11/9~15	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
九州北部地方	+0.5℃ (平年並)	39% (少ない)	146% (かなり多い)

参考データ

● 平年並の範囲

	平均気温 (1 か月)	降水量 (1 か月)	日照時間 (1 か月)
九州北部地方	平年差: -0.4~+0.5℃	平年比: 79~115%	平年比: 93~106%
福岡	10.6~11.4℃	51.5~78.2mm	101.0~120.9時間
	平均気温 (1 週目)	平均気温 (2 週目)	平均気温 (3-4 週目)
九州北部地方	平年差: -0.7~+0.6℃	平年差: -0.7~+0.8℃	平年差: -0.3~+0.6℃
福岡	12.1~13.3℃	10.8~12.2℃	9.5~10.4℃

「平年並」の範囲は、同時期の過去 30 年間（1981-2010 年）の値から統計的に求めています。30 年間のデータの中で「高い（多い）」「平年並」「低い（少ない）」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30 年間の 30 個のデータのうち、値が高い（多い）方から 11~20 番目となる 10 個のデータの値の範囲を、おおむね「平年並」の範囲としています。また、実況の分布図にある「かなり高い（多い）」などは、高い（多い）方から 3 番目までの値に相当します。

● 晴れ日数と降水日数の平年値

	1 か月		1 週目		2 週目		3~4 週目	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
福岡	13.3日	8.1日	3.6日	1.9日	3.5日	2.1日	6.2日	4.2日

「晴れ日数」は「日照時間が可照時間の40%以上」の日数であり、「降水日数」は「日降水量1mm以上」の日数です。この2つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

● 確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率 (低い(少ない): 平年並: 高い(多い))	解 説
高い(多い) 確率が 50%以上 (20: 40: 40)	高い(多い) 見込み 平年並が高い(多い) 見込み
平年並の確率が 50%以上	平年並の見込み
(40: 30: 30) (30: 40: 30) (30: 30: 40)	ほぼ平年並の見込み
(40: 40: 20)	平年並か低い(少ない) 見込み
低い(少ない) 確率が 50%以上	低い(少ない) 見込み